

トラックスト 11日で終結



燃料不足パニックは徐々に収まりつつあるが、政府には重い課題が残された。(参考画像・Paulo Pinto/Fotos Publicas)

燃料値下げ実現に大きな代償

医療や教育関係予算も削減へ

【既報関連】5月21日に始まったトラック運転手によるストは、週明けと共に徐々に収束し始め、スト開始から11日目の5月31日には政府による事実上の終結宣言も出た。聖州で続いていたサントス港につながる道路の封鎖も6月1日午前0時には解除されたが、連邦政府が約束した「ディーゼル油1リットルあたり0.46レアルの値下げ」を実現させるための財源確保の道のりは険しいと、5月31日、6月1日付付字紙・サイトが報じた。

【既報関連】5月31日付付字紙によると、5月31日までに下紙は5月30日までに判明している損害総額を750億と概算しているが、未算出の損害や、今後判明する損害を含めると被害額は大幅に拡大すると報じている。

6月1日から7月末までのディーゼル油の精油所価格は、2.0316レアル/リットルと定められた。値引き分が販売価格に反映されるのは2日以降の見込みで、エリゼウ・パジリーリャ官房長官は、販売業者による5月21日現在の価格と新価格を明示するよう要請。引き下げられた分を消費業者価格に反映させない販売業者には厳しき態度で臨むとしている。だが、販売業者の団体Pur a 1は、消費者価格に反映させられるのは0.41レアルとし、連邦政府はスト開始数日後から、企業家

燃料値上げ反対の気持ちで裏切った過激派など、ストを利用した人たちのせいで、あとに残ったのは、僅かばかりのディーゼル油の値下げと、それを実現するために犠牲となった政府の保健や教育部門などへの予算削減。ストには急速に勢いを落し、今となっては熱気が冷めている。それでもひとえに、国民の純粋な

報道は嘘」などの風潮が流れていたが、その旨の妄言が、何となく起きた。今後は問われる一件だ。

ストの混乱もかなり収まった5月31日、聖州知事選挙を争う現職のマジョアン・ドリア前聖市長もかけつけ、存在をアピールしていた。

5月30日のサッカーの全国選手権、サンパウロは本拠地モルンビデの対ボタフォゴ戦を3-2で勝利。これにより、実で3年ぶりとなる、同選手権首位に立った。だが、それはわずか1日の話で、翌日にはフランメンゴが首位を奪い返した。また、カリーレ監督を移籍で失ったコリンチアンスは、それまで崩れることなく勝利を収め、現時点で3位をキープした。

【既報関連】5月31日付付字紙によると、5月31日までに下紙は5月30日までに判明している損害総額を750億と概算しているが、未算出の損害や、今後判明する損害を含めると被害額は大幅に拡大すると報じている。

政府が最も頭を悩ましたのは、ディーゼル油値下げの財源確保だ。0.46レアル値下げは、ディーゼル油販売時にかかった諸税、経済支配人納付金(Cide)、社会統合基金(PIS)、社会保険融資納付金(Cofins)を免除することで実現する。

その内の0.16レアル(約40億)の財源は増収で確保する。22億7千万レアルは、輸送部門の削減で確保する。0.30レアルの値下げのための財源(約95億)は、補正予算(予備費)からの62億、供出の他、国内各公社への資本金注入の予算カットで21億を捻出。さらに、道路整備などの陸運開連プロジェクト(3.7億)、SUS(1.3億)に各予算(0.5億)を削減する。100万レアル単位の薬物汚染対策費や、連邦道路整備費まで削減することで、やっ

【既報関連】聖州中央部のラルゴ・ド・バイサンドウで起きたビル火災聖市ビル火災から1カ月経て行き場定まらぬ被災者ら

表明後の株価は21%下落し、午前11時50分頃に取引停止となった。P B株の取引は正午過ぎに再開され、多少持ち直したが、午後1時現在のP Bの時価は2157億で、5月16日に記録した今年の最高額3888億より1730億も縮小している。

ペトロブラス総裁が辞任 最後まで価格調整方法擁護

ペトロブラス(PB)としての燃料価格固定などによるPBにたいして穴を修復する事を最大の課題とした。同日付付字紙が報じた。

見ながら小刻みに調整する方針を導いた。これらの策は奏功し、PBの財政状態は大きく改善。国内企業1、2位を争う状態に回復した。だが、PBが95%は職場復帰と発表した。

最高裁のジウマル・メンデス判事が5月30日、聖州での高速道路建設に伴う、民主社会党(P SDB)絡みの汚職で再逮捕されたばかりの重要容疑者、パウロ・ヴィエイラ・ダ・ソウザ(通称パウロ・プレッタ)氏に人身保護令を適用した。5月31日付付字紙が報じた。

トラックスト 批判浴びた軍事介入の叫び

軍関係者はむしろ遵法強調

5月28日に大きく報じられたのは、トラック運転手のストを弱める契機にもなった、一部過激派による「軍事介入」連邦政府打倒の叫びは波紋を広げ、各方面で批判が強まっている。5月31日付付字紙などが報じている。

5月29日、大統領府治安局長のセルジオ・エチコエン陸軍大將は、軍事介入について聞かれ、「前世紀の話だ」として、最高裁のカルメド・ヴィーラ・ロボス陸軍司令官は、今回のトラックストに「平和的な解決を望む」とだけ発言し、軍事介入に否定的態度を示した。

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

【既報関連】5月29日のリオでのストの様子 (Tomaz Silva/Ag Brasil)

ムクナ Muccuri Mucuna G

「ドーパミン」とバランスよい栄養成分で気分爽快！
体力的にも精神的にも年齢を感じるようになった方におすすめ！

ムクナ豆とガラナの焙煎粉末を組み合わせた
中高年向け健康食品

42レアル (150g入)

【こんな方にオススメ】

- ・物忘れしやすくなり、記憶力が衰えてきた。
- ・集中力、注意力が弱まり、何事にも感動しなくなった。
- ・ストレスがたまって気持ちが前向きになれない。
- ・動作が鈍く、足腰が弱くなった。
- ・寝つきが悪く、疲れが残るようになった。

ニッケイ新聞編集部で販売中！
問合せ：(11) 3340-6060

★団体エアーパック★

TOUR GOURMET FLORIANOPOLIS (SC)

航空チケット・宿泊
> 2泊3日
> フロリアノポリス市内観光：歴史観光
ジョアキナビーチ
コンセイソン湖
> 海老料理専門店
> 牡蠣料理専門店
> からす貝料理専門店

8月3日~5日

R\$ 957 + 空港税

日本への航空チケットも取り扱っております。
お問い合わせください。

ビザ・戸籍・RAIL PASSの手配も致します

SERVICE GLOBAL TURISMO

日本語対応
スペシャルダイヤル
(11) 3572-8961

INFORMAÇÕES E RESERVAS
☎(11)3572-8990
www.serviceglobal.com.br

日本移民の為に生涯を捧げた苦勞の歴史 上塚周平の生涯

História do UETSUKA SHUHEI
ポルト版特別価格 R\$ 25,00

ニッケイ新聞社 15周年記念
お問合せ・お申込は(11)3340-6060

水野龍

“RYO MIZUNO”
- Precursor da Imigração Japonesa -
ポルト版特別価格 R\$ 25,00
ポルト版に日本語を併記

移民事業の先鞭を付け
ブラジルをこよなく愛した
水野龍の伝記



日出づる国の防衛戦略

平和で安定した半島情勢こそが大陸からの脅威を防ぐ。

1. 超大国の侵略の跡

「このあたりだ。見る、あの白骨を」と、高句麗の将官は馬上から叫ぶように言い、通事も訳した。白骨化した死体が、点々と地平線までつらなっていた。推古9(西暦601)年、所は高句麗と隋の国境近くを流れる遼河のほとり、ちょうど朝鮮半島が大陸から突き出す付け根のあたりである。大和朝廷からの使者・大伴作は侵略をことする超大国と国境を接する事が、いかに恐ろしいことか、思い知った。

中国大陸を370年ぶりに統一した隋が、水陸30万の大軍で高句麗に攻め込んだのは3年前、西暦598年のことであった。高句麗は今の北朝鮮から満洲、遼東半島にかけて広大な版図を持つツングース系騎馬民族国家で、約800年の歴史を持つ東北アジアの強国であった。

この時は高句麗が隋の大軍をよく防いでいる間に、6月の長雨で遼河が氾濫し、中国本土からの補給線が切れるとともに、隋軍の中で疫病が流行した。隋軍は20数万人の死体を原野に晒して引き揚げた。

「しかし、隋はまたかならず来襲する。高官は馬首を返して言った。『30万で負けたとなると、次は100万だ。そのとき野を埋めるのは、わが軍兵士の骸であるかもしれないのだ』」

高句麗を破った後、隋の大軍は新羅と連合して百済を蹴散らし、やがては海を越えて、わが大和の国を襲うだろう。大伴作の身体は身震いがとまらなかつた。

2. 厩戸太子(聖徳太子)の大戦略

朝鮮半島の南東部を治める新羅が、半島南端の日本の属領・任那を攻撃したのは、前年の推古8(600)年のことだった。大伴作が大将軍として4年も九州に出陣して牽制していた間は、まがいなりにも平和が保たれていたが、その軍勢がひきあげて数年も経たぬうちに、新羅は軍事行動を起こしたのである。

新羅の狙いは、任那だけではなかつた。隋と組んで北の高句麗、西の百済に侵攻し、朝鮮半島を統一しようという野望を抱いていた。

大和朝廷では、たまたまに新羅征討軍を送り込むことが決定され、四国、中国、北九州の豪族の兵士約一万が統々と朝鮮半島を押し渡した。新羅、百済、高句麗とも陸戦には慣れているが、水軍を建設するほどの国力はなく、日本水軍は独り圧倒的な力で、朝鮮半島の制海権を握っていたのである。

征討軍は朝鮮半島南端の新羅が支配する旧任那の地に直接上陸して、無人の野を行くが如く、たちまち5つの城を攻め抜いた。すると、新羅はすぐに降伏して、旧任那のうち6地方を返還すると申し入れて和を求めた。しかし、朝廷がこれを聞き入れ、朝廷軍を召還すると、新羅は再び任那を制圧してまたた。

大伴作が撰政の厩戸太子(聖徳太子)から「高麗に赴き任那を救え」との特命を与えられたのはこの時だった。太子の戦略は、高麗(高句麗)、百済、日本が同盟を結び、北・西・南から新羅を攻める。朝鮮半島の野望を持つ新羅を孤立させ、任那を守りつつ、新興の超大国・隋に対する防壁を朝鮮半島を南北に貫いて築く、という戦略であった。

「このうらみ、未代まで忘れまい!」

大伴作が高句麗の嬰陽王に謁見して、日本・高句麗・百済の同盟を築きたいと提案すると、嬰陽王の顔に抑えようもない怒りの色が浮かんだ。「われらは貴国を信ずる。しかし、百済は信用ならん」という王の声を震えさせた。

「理由をお聞かせ願いたい」と作が聞くと、王は答えた。隋の大軍が高句麗の国土をまさに蹂躪しようとしている時、百済の威徳王は隋に対して「皇帝の臣たるわたしが、先導をつかまらずに、先導を先導して阿諛迎合の書状を献上品とともに隋に差し出したというのである。」

「卑劣である。絶対に許し得ぬ行為である。このうらみ、未代まで忘れまい」と、王は恨みをむきだして、大伴作を驚かせたのは、朝廷軍の編成が一新されていた事である。従来は朝廷軍とは名ばかりで、大伴氏や紀氏、葛城氏などの大家族が私兵を引き連れて、連合軍を形成していた。しかし、今頃は地方毎に集められた兵士が中心となつて、しかも將軍は、撰政・厩戸太子(聖徳太子)の同母弟・来目皇子である。朝廷軍とは大君が統率する国民軍であるべきだ、という太子の理想が具現されていた。

しかし、筑紫の駐屯所で出兵準備の陣頭指揮をとっていた来目皇子が倒れた。この早馬が都に駆け上ってきた。来目皇子は兄の太子に似て、すぐれた資質を持つ青年だったが、まだ20代と若く、軍を率いた経験もなかった。2万5千の兵を率いるという過労と精神的重圧のためである。

3. 「このうらみ、未代まで忘れまい!」

来目皇子が重病の床にあつて、朝廷軍の出発が遅れている間に、推古10(602)年8月、百済軍が新羅を攻めた。対する新羅は大部隊を繰り出して立ち向かった。この時点で、日本の大船団が新羅沖に達していたら、狭み撃ちの形ができて、新羅はこれほどの大兵力を対百済戦に集中投入できなかったはずである。百済軍は全滅に近い敗北を喫した。

来目皇子が推古11年2月に亡くなり、あらたに太子の異母弟・当摩皇子が將軍に任ぜられた。しかし、筑紫へ向かう途中、身体が弱かつた如く、悲しみにくれた皇子は飛鳥の都に引き返してしまつた。

この頃、高句麗が千人ほどの精鋭部隊を南下させたが、新羅は国王が陣頭指揮をとって、主力軍を迎えた。日本軍が海上から攻めればこそ、勝利もあつたが、単独では敵うはずもない。高句麗軍は戦わずして引き揚げた。

作は愕然とした思いで、自らのまとめた三国同盟の失敗を見つめていなければならなかつた。それもこれも盟主・日本の責任である。

作は、太子に高句麗と百済の情勢を報告した。太子は「新羅を討つに兵を用いず」と一言、言われた。それが何を意味するのか、作が理解するにはまだ何年も月が必要だった。

4. 国民軍

太子の命によつて、小野妹子が遣隋使として飛鳥の都を出発したのは、推古15(607)年7月だった。筑紫から百済を渡り、陸路、高句麗を経て、隋に入つた。百済も高句麗も同盟国であり、何の危険もなかつた。

小野妹子は隋帝に「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや」という一文で始まる国書を差し出した。a

超大国、隋に対して対等な外交を申し入れたこの国書が、どれほど革命的なものであつたかは、高句麗の嬰陽王が隋の大軍を撃退した後に、差し出した国書と比べてみるとよく分かる。王は勝誇るどころか、自らを「遼東糞土の臣(糞尿にまみれた遼東の地を治めさせていた臣下)」と蔑んだのである。

5. 三国同盟、失敗

九州ほどの大ききでしかない百済や新羅に比べれば、日本は超大国であり、世界最大級の仁徳天皇陵を初めとする多くの前方後円墳を作るなど、半島の三國とは桁違いの国力を持つた。軍事的にも隋を上回る水軍を保有していた。その強国を、高句麗討伐に手こずっている隋が、粗略に扱える余裕はなかつた。

推古16(608)年8月、小野妹子は特使・裴世清以下12名の使節団とともに帰国した。隋帝からの国書は「皇帝から倭皇に挨拶を送る」と始まる丁寧な文面で、「皇(天皇)は海の彼方により居ます。民衆を慈しみ、国は安楽で生活は融和し、深い至誠の心あり」と、日本の平和な国ありようを讃えている。

6. 「日出づる処の天子」からの国書

この動きに焦つたのが新羅である。隋の力を借りて朝鮮半島を統一しようという野望が一挙に覆された。その隋が新羅にとつては夢のような大使節団を日本に送り、あつという間に対等な友好関係を結んでしまつたのである。隋と日本、そして百済、高句麗が結んだら、新羅は完全に孤立する。

新羅の眞平王は、隋帝に高句麗討伐の出兵を乞う書簡を送つたが、隋からはなんの返答もなかつた。逆に高句麗は、当分隋からの侵攻はない、と諷んで新羅を攻撃し、国境近くの山城を落として8千人を捕虜とした。

窮地に陥つた新羅が調をたてまつる使者を日本に送つてきた。と聞いたとき、大伴作は自分の耳を疑つた。しかも任那からの使者を伴っている、という新羅が任那を実効支配したのが、48年前のことだった。以来、朝廷は任那を奪回すべく、何度も遠征軍を派遣し、あるいは百済を軍事支援して新羅を攻めてきた。

新羅が支配する任那の使者などは、手の込んだ演出に過ぎないが、日本の要求通り任那を復興させ、その使者を伴つてきた、という形式をとって見せたのだ。隋と対等に渡り合う日本の機嫌をとつておこう、という見え透いた戦術だった。

推古18(610)年10月、朝廷は数十年ぶりに新羅の使者を盛大に迎えた。7年前に太子が言われた「新羅を討つに兵を用いず」との言葉がここに現実のものとなつたのである。

しかし、作はこれで安心とはとても思えなかつた。隋は高句麗への侵略をあきらめたわけではない。他国を属国としなければならぬ侵略国家である。日本との友好を固めたのを機に、ふたたび高句麗侵略に出るに違いない。

7. 新羅の焦り

この動きに焦つたのが新羅である。隋の力を借りて朝鮮半島を統一しようという野望が一挙に覆された。その隋が新羅にとつては夢のような大使節団を日本に送り、あつという間に対等な友好関係を結んでしまつたのである。隋と日本、そして百済、高句麗が結んだら、新羅は完全に孤立する。

新羅の眞平王は、隋帝に高句麗討伐の出兵を乞う書簡を送つたが、隋からはなんの返答もなかつた。逆に高句麗は、当分隋からの侵攻はない、と諷んで新羅を攻撃し、国境近くの山城を落として8千人を捕虜とした。

窮地に陥つた新羅が調をたてまつる使者を日本に送つてきた。と聞いたとき、大伴作は自分の耳を疑つた。しかも任那からの使者を伴っている、という新羅が任那を実効支配したのが、48年前のことだった。以来、朝廷は任那を奪回すべく、何度も遠征軍を派遣し、あるいは百済を軍事支援して新羅を攻めてきた。

新羅が支配する任那の使者などは、手の込んだ演出に過ぎないが、日本の要求通り任那を復興させ、その使者を伴つてきた、という形式をとって見せたのだ。隋と対等に渡り合う日本の機嫌をとつておこう、という見え透いた戦術だった。

推古18(610)年10月、朝廷は数十年ぶりに新羅の使者を盛大に迎えた。7年前に太子が言われた「新羅を討つに兵を用いず」との言葉がここに現実のものとなつたのである。

しかし、作はこれで安心とはとても思えなかつた。隋は高句麗への侵略をあきらめたわけではない。他国を属国としなければならぬ侵略国家である。日本との友好を固めたのを機に、ふたたび高句麗侵略に出るに違いない。

8. 随の高句麗侵略と滅亡

昨の心配通り、611(推古19)年に入ると、隋は113万の大軍を持って高句麗に襲いかかった。少し前の「ゲルマン民族の大移動」が、総計50万人程度と言われているので、それに倍する軍勢である。

しかし、あまりの大軍の長距離遠征に糧食が続かず、わずか数万の高句麗軍が果敢な抵抗をしている間に、随軍は飢餓に襲われ、敗退した。

この後も、隋は一度に渡つて高句麗を攻めたが、古くは国内で反乱や暴動が起り、ついに618(推古26)年に滅亡してしまつた。

その直後、隋の侵略からついに国を守りきつた高句麗の嬰陽王は、戦勝の喜びの品々を日本の朝廷に送つてきた。その中には隋軍が運搬に使つたラクダもあつた。高句麗の嬰陽王がこれらの品々をすぐに送つてきたのは、当然、日本の感謝があつたのだろう。日本の圧力がなければ、新羅が背後で蠢き、高句麗は随との戦いに集中できなかったはずである。

9. 日本の防衛戦略の根本

大和朝廷の朝鮮半島政策の根本は、推古天皇の父で、任那滅亡時の欽明天皇の遺言にあつた。欽明天皇は、死の病床で皇太子(第30代敏達天皇)の手をとり、「汝、新羅を打ち、任那を封建すべし。また夫婦のように相和して、もの日のことくならは、死すとも恨むことなし」と語つたのである。

新羅を攻め、領土を奪えと言つたのではない。任那を復興し、新羅、任那、百済の三韓が平和的に鼎立してくれればそれで良い。平和で安定した半島情勢こそが大陸からの脅威を防ぐ防壁となるというのが、日本の防衛戦略の根本であった。

「新羅を討つに兵を用いず」という太子の戦略もこの一環で、隋の勢力を引き入れて半島を統一した新羅の野望を打ち砕くというもので、新羅そのものの打倒を目指したのではない。

近代においても、朝鮮半島に高句麗のように独立した国が、安定的な国家が存在して、ソ連や共産中国の防壁となつてくれたら、日清・日露戦争、満洲事変という歴史の流れも大きく変わつていただろう。そして中国と北朝鮮が、日本の安全保障上最大の脅威となつている現代においても、この根本は変わらない。

リンク

a. JOG(311) 聖徳太子の大戦略
聖徳太子が隋の皇帝にあつた手紙から、子供たちは何を感じ取つたのか?

【参考文献】
(1) 八木莊司「古代からの伝言「日出づる国」」角川書店、H12

「日出づる国」の著者・伊勢雅臣さん、2018年10月22日版

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

「なによえに、好物の百済を貴国は身内のようにつねに苦しめ、救ってきたのであるのか」と聞く王に、作はこう答えた。

「百済は隋にしろえより、日本の官家であり、官家であれば苦しめなければならぬのは当然のことでありませう。」

「官家」とは、天皇に直属する領地というほどの意味である。第15代応神天皇の時代から、日本は百済、新羅、任那の三韓を「官家」と見なしてきた。隋書倭国伝にも「新羅、百済、みな倭をもつて大國となし、これを敬し仰ぐ」とある。

作は、百済が常に日本に王族を人質に差し出して、そのことを明らかにし、「百済が日本に謀反したことは万が一にもない」と断言した。

それに安心したのが、最高位の重臣が代表して「われら一同、貴殿を信頼し、その信頼をもつて新羅征討の軍を起すこととする」と約束した。ただし、唯一の条件として、作が自ら百済に赴き、かの国が裏切ることのないよう、国王以下にこの盟約を徹底させることを要求した。作は、翌日、従者とともに馬を駆つて百済に向けて半島を南下していった。

作を迎え、百済も当初、三国の同盟案に強硬に反対した。盟主・日本の要請とあらば、いつでも新羅討伐に立ち上がるが、仇敵である高句麗と手を結ぶことはできない、というのである。漢城(ソウル)はもともと百済の都であった。それを約130年前に高句麗に奪われ、時の百済王は殺され、半島西南部に押し込められたのであつた。

互いに仇敵であつた高句麗と百済になんとか同盟を約束させ、大伴作が帰朝したのは、推古10(602)年6月、1年3カ月におよぶ長旅であつた。

帰路立ち寄つた筑紫(北九州)から長門(山口県、安芸(広島県)の各港は沸き立つような活況を見せつた。巨木による軍船が建造され、食料、武器、燃料などを満載した帆船が港を埋めていた。新羅討伐のための出兵準備である。約2万5千の兵力を動員するといふ。

さらに作を驚かせたのは、朝廷軍の編成が一新されていた事である。従来は朝廷軍とは名ばかりで、大伴氏や紀氏、葛城氏などの大家族が私兵を引き連れて、連合軍を形成していた。しかし、今頃は地方毎に集められた兵士が中心となつて、しかも將軍は、撰政・厩戸太子(聖徳太子)の同母弟・来目皇子である。朝廷軍とは大君が統率する国民軍であるべきだ、という太子の理想が具現されていた。

しかし、筑紫の駐屯所で出兵準備の陣頭指揮をとっていた来目皇子が倒れた。この早馬が都に駆け上ってきた。来目皇子は兄の太子に似て、すぐれた資質を持つ青年だったが、まだ20代と若く、軍を率いた経験もなかった。2万5千の兵を率いるという過労と精神的重圧のためである。

九州ほどの大ききでしかない百済や新羅に比べれば、日本は超大国であり、世界最大級の仁徳天皇陵を初めとする多くの前方後円墳を作るなど、半島の三國とは桁違いの国力を持つた。軍事的にも隋を上回る水軍を保有していた。その強国を、高句麗討伐に手こずっている隋が、粗略に扱える余裕はなかつた。

推古16(608)年8月、小野妹子は特使・裴世清以下12名の使節団とともに帰国した。隋帝からの国書は「皇帝から倭皇に挨拶を送る」と始まる丁寧な文面で、「皇(天皇)は海の彼方により居ます。民衆を慈しみ、国は安楽で生活は融和し、深い至誠の心あり」と、日本の平和な国ありようを讃えている。

この動きに焦つたのが新羅である。隋の力を借りて朝鮮半島を統一しようという野望が一挙に覆された。その隋が新羅にとつては夢のような大使節団を日本に送り、あつという間に対等な友好関係を結んでしまつたのである。隋と日本、そして百済、高句麗が結んだら、新羅は完全に孤立する。

新羅の眞平王は、隋帝に高句麗討伐の出兵を乞う書簡を送つたが、隋からはなんの返答もなかつた。逆に高句麗は、当分隋からの侵攻はない、と諷んで新羅を攻撃し、国境近くの山城を落として8千人を捕虜とした。

窮地に陥つた新羅が調をたてまつる使者を日本に送つてきた。と聞いたとき、大伴作は自分の耳を疑つた。しかも任那からの使者を伴っている、という新羅が任那を実効支配したのが、48年前のことだった。以来、朝廷は任那を奪回すべく、何度も遠征軍を派遣し、あるいは百済を軍事支援して新羅を攻めてきた。

新羅が支配する任那の使者などは、手の込んだ演出に過ぎないが、日本の要求通り任那を復興させ、その使者を伴つてきた、という形式をとって見せたのだ。隋と対等に渡り合う日本の機嫌をとつておこう、という見え透いた戦術だった。

推古18(610)年10月、朝廷は数十年ぶりに新羅の使者を盛大に迎えた。7年前に太子が言われた「新羅を討つに兵を用いず」との言葉がここに現実のものとなつたのである。

しかし、作はこれで安心とはとても思えなかつた。隋は高句麗への侵略をあきらめたわけではない。他国を属国としなければならぬ侵略国家である。日本との友好を固めたのを機に、ふたたび高句麗侵略に出るに違いない。

昨の心配通り、611(推古19)年に入ると、隋は113万の大軍を持って高句麗に襲いかかった。少し前の「ゲルマン民族の大移動」が、総計50万人程度と言われているので、それに倍する軍勢である。

しかし、あまりの大軍の長距離遠征に糧食が続かず、わずか数万の高句麗軍が果敢な抵抗をしている間に、随軍は飢餓に襲われ、敗退した。

この後も、隋は一度に渡つて高句麗を攻めたが、古くは国内で反乱や暴動が起り、ついに618(推古26)年に滅亡してしまつた。

その直後、隋の侵略からついに国を守りきつた高句麗の嬰陽王は、戦勝の喜びの品々を日本の朝廷に送つてきた。その中には隋軍が運搬に使つたラクダもあつた。高句麗の嬰陽王がこれらの品々をすぐに送つてきたのは、当然、日本の感謝があつたのだろう。日本の圧力がなければ、新羅が背後で蠢き、高句麗は随との戦いに集中できなかったはずである。

大和朝廷の朝鮮半島政策の根本は、推古天皇の父で、任那滅亡時の欽明天皇の遺言にあつた。欽明天皇は、死の病床で皇太子(第30代敏達天皇)の手をとり、「汝、新羅を打ち、任那を封建すべし。また夫婦のように相和して、もの日のことくならは、死すとも恨むことなし」と語つたのである。

新羅を攻め、領土を奪えと言つたのではない。任那を復興し、新羅、任那、百済の三韓が平和的に鼎立してくれればそれで良い。平和で安定した半島情勢こそが大陸からの脅威を防ぐ防壁となるというのが、日本の防衛戦略の根本であった。

「新羅を討つに兵を用いず」という太子の戦略もこの一環で、隋の勢力を引き入れて半島を統一した新羅の野望を打ち砕くというもので、新羅そのものの打倒を目指したのではない。

近代においても、朝鮮半島に高句麗のように独立した国が、安定的な国家が存在して、ソ連や共産中国の防壁となつてくれたら、日清・日露戦争、満洲事変という歴史の流れも大きく変わつていただろう。そして中国と北朝鮮が、日本の安全保障上最大の脅威となつている現代においても、この根本は変わらない。

「日出づる国」の著者・伊勢雅臣さん、2018年10月22日版

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

「なによえに、好物の百済を貴国は身内のようにつねに苦しめ、救ってきたのであるのか」と聞く王に、作はこう答えた。

「百済は隋にしろえより、日本の官家であり、官家であれば苦しめなければならぬのは当然のことでありませう。」

「官家」とは、天皇に直属する領地というほどの意味である。第15代応神天皇の時代から、日本は百済、新羅、任那の三韓を「官家」と見なしてきた。隋書倭国伝にも「新羅、百済、みな倭をもつて大國となし、これを敬し仰ぐ」とある。

作は、百済が常に日本に王族を人質に差し出して、そのことを明らかにし、「百済が日本に謀反したことは万が一にもない」と断言した。

それに安心したのが、最高位の重臣が代表して「われら一同、貴殿を信頼し、その信頼をもつて新羅征討の軍を起すこととする」と約束した。ただし、唯一の条件として、作が自ら百済に赴き、かの国が裏切ることのないよう、国王以下にこの盟約を徹底させることを要求した。作は、翌日、従者とともに馬を駆つて百済に向けて半島を南下していった。

作を迎え、百済も当初、三国の同盟案に強硬に反対した。盟主・日本の要請とあらば、いつでも新羅討伐に立ち上がるが、仇敵である高句麗と手を結ぶことはできない、というのである。漢城(ソウル)はもともと百済の都であった。それを約130年前に高句麗に奪われ、時の百済王は殺され、半島西南部に押し込められたのであつた。

互いに仇敵であつた高句麗と百済になんとか同盟を約束させ、大伴作が帰朝したのは、推古10(602)年6月、1年3カ月におよぶ長旅であつた。

帰路立ち寄つた筑紫(北九州)から長門(山口県、安芸(広島県)の各港は沸き立つような活況を見せつた。巨木による軍船が建造され、食料、武器、燃料などを満載した帆船が港を埋めていた。新羅討伐のための出兵準備である。約2万5千の兵力を動員するといふ。

さらに作を驚かせたのは、朝廷軍の編成が一新されていた事である。従来は朝廷軍とは名ばかりで、大伴氏や紀氏、葛城氏などの大家族が私兵を引き連れて、連合軍を形成していた。しかし、今頃は地方毎に集められた兵士が中心となつて、しかも將軍は、撰政・厩戸太子(聖徳太子)の同母弟・来目皇子である。朝廷軍とは大君が統率する国民軍であるべきだ、という太子の理想が具現されていた。

しかし、筑紫の駐屯所で出兵準備の陣頭指揮をとっていた来目皇子が倒れた。この早馬が都に駆け上ってきた。来目皇子は兄の太子に似て、すぐれた資質を持つ青年だったが、まだ20代と若く、軍を率いた経験もなかった。2万5千の兵を率いるという過労と精神的重圧のためである。

九州ほどの大ききでしかない百済や新羅に比べれば、日本は超大国であり、世界最大級の仁徳天皇陵を初めとする多くの前方後円墳を作るなど、半島の三國とは桁違いの国力を持つた。軍事的にも隋を上回る水軍を保有していた。その強国を、高句麗討伐に手こずっている隋が、粗略に扱える余裕はなかつた。

推古16(608)年8月、小野妹子は特使・裴世清以下12名の使節団とともに帰国した。隋帝からの国書は「皇帝から倭皇に挨拶を送る」と始まる丁寧な文面で、「皇(天皇)は海の彼方により居ます。民衆を慈しみ、国は安楽で生活は融和し、深い至誠の心あり」と、日本の平和な国ありようを讃えている。

この動きに焦つたのが新羅である。隋の力を借りて朝鮮半島を統一しようという野望が一挙に覆された。その隋が新羅にとつては夢のような大使節団を日本に送り、あつという間に対等な友好関係を結んでしまつたのである。隋と日本、そして百済、高句麗が結んだら、新羅は完全に孤立する。

新羅の眞平王は、隋帝に高句麗討伐の出兵を乞う書簡を送つたが、隋からはなんの返答もなかつた。逆に高句麗は、当分隋からの侵攻はない、と諷んで新羅を攻撃し、国境近くの山城を落として8千人を捕虜とした。

窮地に陥つた新羅が調をたてまつる使者を日本に送つてきた。と聞いたとき、大伴作は自分の耳を疑つた。しかも任那からの使者を伴っている、という新羅が任那を実効支配したのが、48年前のことだった。以来、朝廷は任那を奪回すべく、何度も遠征軍を派遣し、あるいは百済を軍事支援して新羅を攻めてきた。

新羅が支配する任那の使者などは、手の込んだ演出に過ぎないが、日本の要求通り任那を復興させ、その使者を伴つてきた、という形式をとって見せたのだ。隋と対等に渡り合う日本の機嫌をとつておこう、という見え透いた戦術だった。

推古18(610)年10月、朝廷は数十年ぶりに新羅の使者を盛大に迎えた。7年前に太子が言われた「新羅を討つに兵を用いず」との言葉がここに現実のものとなつたのである。

しかし、作はこれで安心とはとても思えなかつた。隋は高句麗への侵略をあきらめたわけではない。他国を属国としなければならぬ侵略国家である。日本との友好を固めたのを機に、ふたたび高句麗侵略に出るに違いない。

昨の心配通り、611(推古19)年に入ると、隋は113万の大軍を持って高句麗に襲いかかった。少し前の「ゲルマン民族の大移動」が、総計50万人程度と言われているので、それに倍する軍勢である。

しかし、あまりの大軍の長距離遠征に糧食が続かず、わずか数万の高句麗軍が果敢な抵抗をしている間に、随軍は飢餓に襲われ、敗退した。

この後も、隋は一度に渡つて高句麗を攻めたが、古くは国内で反乱や暴動が起り、ついに618(推古26)年に滅亡してしまつた。

その直後、隋の侵略からついに国を守りきつた高句麗の嬰陽王は、戦勝の喜びの品々を日本の朝廷に送つてきた。その中には隋軍が運搬に使つたラクダもあつた。高句麗の嬰陽王がこれらの品々をすぐに送つてきたのは、当然、日本の感謝があつたのだろう。日本の圧力がなければ、新羅が背後で蠢き、高句麗は随との戦いに集中できなかったはずである。

大和朝廷の朝鮮半島政策の根本は、推古天皇の父で、任那滅亡時の欽明天皇の遺言にあつた。欽明天皇は、死の病床で皇太子(第30代敏達天皇)の手をとり、「汝、新羅を打ち、任那を封建すべし。また夫婦のように相和して、もの日のことくならは、死すとも恨むことなし」と語つたのである。

新羅を攻め、領土を奪えと言つたのではない。任那を復興し、新羅、任那、百済の三韓が平和的に鼎立してくれればそれで良い。平和で安定した半島情勢こそが大陸からの脅威を防ぐ防壁となるというのが、日本の防衛戦略の根本であった。

「新羅を討つに兵を用いず」という太子の戦略もこの一環で、隋の勢力を引き入れて半島を統一した新羅の野望を打ち砕くというもので、新羅そのものの打倒を目指したのではない。

近代においても、朝鮮半島に高句麗のように独立した国が、安定的な国家が存在して、ソ連や共産中国の防壁となつてくれたら、日清・日露戦争、満洲事変という歴史の流れも大きく変わつていただろう。そして中国と北朝鮮が、日本の安全保障上最大の脅威となつている現代においても、この根本は変わらない。

「日出づる国」の著者・伊勢雅臣さん、2018年10月22日版

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

「なによえに、好物の百済を貴国は身内のようにつねに苦しめ、救ってきたのであるのか」と聞く王に、作はこう答えた。

「百済は隋にしろえより、日本の官家であり、官家であれば苦しめなければならぬのは当然のことでありませう。」

「官家」とは、天皇に直属する領地というほどの意味である。第15代応神天皇の時代から、日本は百済、新羅、任那の三韓を「官家」と見なしてきた。隋書倭国伝にも「新羅、百済、みな倭をもつて大國となし、これを敬し仰ぐ」とある。

作は、百済が常に日本に王族を人質に差し出して、そのことを明らかにし、「百済が日本に謀反したことは万が一にもない」と断言した。

それに安心したのが、最高位の重臣が代表して「われら一同、貴殿を信頼し、その信頼をもつて新羅征討の軍を起すこととする」と約束した。ただし、唯一の条件として、作が自ら百済に赴き、かの国が裏切ることのないよう、国王以下にこの盟約を徹底させることを要求した。作は、翌日、従者とともに馬を駆つて百済に向けて半島を南下していった。

作を迎え、百済も当初、三国の同盟案に強硬に反対した。盟主・日本の要請とあらば、いつでも新羅討伐に立ち上がるが、仇敵である高句麗と手を結ぶことはできない、というのである。漢城(ソウル)はもともと百済の都であった。それを約130年前に高句麗に奪われ、時の百済王は殺され、半島西南部に押し込められたのであつた。

互いに仇敵であつた高句麗と百済になんとか同盟を約束させ、大伴作が帰朝したのは、推古10(602)年6月、1年3カ月におよぶ長旅であつた。

帰路立ち寄つた筑紫(北九州)から長門(山口県、安芸(広島県)の各港は沸き立つような活況を見せつた。巨木による軍船が建造され、食料、武器、燃料などを満載した帆船が港を埋めていた。新羅討伐のための出兵準備である。約2万5千の兵力を動員するといふ。

さらに作を驚かせたのは、朝廷軍の編成が一新されていた事である。従来は朝廷軍とは名ばかりで、大伴氏や紀氏、葛城氏などの大家族が私兵を引き連れて、連合軍を形成していた。しかし、今頃は地方毎に集められた兵士が中心となつて、しかも將軍は、撰政・厩戸太子(聖徳太子)の同母弟・来目皇子である。朝廷軍とは大君が統率する国民軍であるべきだ、という太子の理想が具現されていた。

しかし、筑紫の駐屯所で出兵準備の陣頭指揮をとっていた来目皇子が倒れた。この早馬が都に駆け上ってきた。来目皇子は兄の太子に似て、すぐれた資質を持つ青年だったが、まだ20代と若く、軍を率いた経験もなかった。2万5千の兵を率いるという過労と精神的重圧のためである。

九州ほどの大ききでしかない百済や新羅に比べれば、日本は超大国であり、世界最大級の仁徳天皇陵を初めとする多くの前方後円墳を作るなど、半島の三國とは桁違いの国力を持つた。軍事的にも隋を上回る水軍を保有していた。その強国を、高句麗討伐に手こずっている隋が、粗略に扱える余裕はなかつた。

推古16(608)年8月、小野妹子は特使・裴世清以下12名の使節団とともに帰国した。隋帝からの国書は「皇帝から倭皇に挨拶を送る」と始まる丁寧な文面で、「皇(天皇)は海の彼方により居ます。民衆を慈しみ、国は安楽で生活は融和し、深い至誠の心あり」と、日本の平和な国ありようを讃えている。

この動きに焦つたのが新羅である。隋の力を借りて朝鮮半島を統一しようという野望が一挙に覆された。その隋が新羅にとつては夢のような大使節団を日本に送り、あつという間に対等な友好関係を結んでしまつたのである。隋と日本、そして百済、高句麗が結んだら、新羅は完全に孤立する。

新羅の眞平王は、隋帝に高句麗討伐の出兵を乞う書簡を送つたが、隋からはなんの返答もなかつた。逆に高句麗は、当分隋からの侵攻はない、と諷んで新羅を攻撃し、国境近くの山城を落として8千人を捕虜とした。

窮地に陥つた新羅が調をたてまつる使者を日本に送つてきた。と聞いたとき、大伴作は自分の耳を疑つた。しかも任那からの使者を伴っている、という新羅が任那を実効支配したのが、48年前のことだった。以来、朝廷は任那を奪回すべく、何度も遠征軍を派遣し、あるいは百済を軍事支援して新羅を攻めてきた。

新羅が支配する任那の使者などは、手の込んだ演出に過ぎないが、日本の要求通り任那を復興させ、その使者を伴つてきた、という形式をとって見せたのだ。隋と対等に渡り合う日本の機嫌をとつておこう、という見え透いた戦術だった。

推古18(610)年10月、朝廷は数十年ぶりに新羅の使者を盛大に迎えた。7年前に太子が言われた「新羅を討つに兵を用いず」との言葉がここに現実のものとなつたのである。

しかし、作はこれで安心とはとても思えなかつた。隋は高句麗への侵略をあきらめたわけではない。他国を属国としなければならぬ侵略国家である。日本との友好を固めたのを機に、ふたたび高句麗侵略に出るに違いない。

昨の心配通り、611(推古19)年に入ると、隋は113万の大軍を持って高句麗に襲いかかった。少し前の「ゲルマン民族の大移動」が、総計50万人程度と言われているので、それに倍する軍勢である。

しかし、あまりの大軍の長距離遠征に糧食が続かず、わずか数万の高句麗軍が果敢な抵抗をしている間に、随軍は飢餓に襲われ、敗退した。

この後も、隋は一度に渡つて高句麗を攻めたが、古くは国内で反乱や暴動が起り、ついに618(推古26)年に滅亡してしまつた。

その直後、隋の侵略からついに国を守りきつた高句麗の嬰陽王は、戦勝の喜びの品々を日本の朝廷に送つてきた。その中には隋軍が運搬に使つたラクダもあつた。高句麗の嬰陽王がこれらの品々をすぐに送つてきたのは、当然、日本の感謝があつたのだろう。日本の圧力がなければ、新羅が背後で蠢き、高句麗は随との戦いに集中できなかったはずである。

大和朝廷の朝鮮半島政策の根本は、推古天皇の父で、任那滅亡時の欽明天皇の遺言にあつた。欽明天皇は、死の病床で皇太子(第30代敏達天皇)の手をとり、「汝、新羅を打ち、任那を封建すべし。また夫婦のように相和して、もの日のことくならは、死すとも恨むことなし」と語つたのである。

新羅を攻め、領土を奪えと言つたのではない。任那を復興し、新羅、任那、百済の三韓が平和的に鼎立してくれればそれで良い。平和で安定した半島情勢こそが大陸からの脅威を防ぐ防壁となるというのが、日本の防衛戦略の根本であった。

「新羅を討つに兵を用いず」という太子の戦略もこの一環で、隋の勢力を引き入れて半島を統一した新羅の野望を打ち砕くというもので、新羅そのものの打倒を目指したのではない。

近代においても、朝鮮半島に高句麗のように独立した国が、安定的な国家が存在して、ソ連や共産中国の防壁となつてくれたら、日清・日露戦争、満洲事変という歴史の流れも大きく変わつていただろう。そして中国と北朝鮮が、日本の安全保障上最大の脅威となつている現代においても、この根本は変わらない。

「日出づる国」の著者・伊勢雅臣さん、2018年10月22日版

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

「なによえに、好物の百済を貴国は身内のようにつねに苦しめ、救ってきたのであるのか」と聞く王に、作はこう答えた。



5月30日版

米朝会談のポイントはどこ？

非核化と体制保障の引き換えか

トランプは、金に何をオファーしている？
詳細が、できまじ

これまで本メルマガでは、北朝鮮の意図について、こう解説してきました。

★非核化の意思を示す
★交渉によって、制裁を解除させ、経済支援も得る

しかし、ちやっか核兵器は保有しつづける。実際、北朝鮮は、1994年に核開発停止宣言を、05年に核兵器放棄宣言をした。

ところが、金の父・金正日は、受け取るものだけ受け取って、核開発を止めてきた。

その「ワソ」の結果が、今の状況にあるわけです。

金正恩は、「偉大なお父さんを見習って、僕も上手にアメリカをだまそう！」と決意し、同じパターンで動いてきた。

ところがトランプさんは、北の本質を知っている。安倍総理やポルトガルから、「大統領！だまされてはダメです。過去の大統領同様、世界の笑いものになりますぞ！」とアドバイスされている。

それで、妥協しない。そんなアメリカサイドは、これまで「リビア

式」に言及してきまし

つまり、「核を放棄し、その後制裁解除、経済支援」。しかし、リビアのカダフィ大佐は、03年核開発をやめ、11年にアメリカから支援を受ける反体制派に捕まり殺されています。だから、金は金で、アメリカを信じていることができない。

そして本メルマガは、「こんな解決策がいい」と書いてきました。

★「核兵器放棄、体制保障」の後、「制裁解除」これこそ、全世界に恩恵をもたらす「WIN-WIN」の解決策。

なぜ？

まず、日本、アメリカ、韓国は、「北から核攻撃される」という恐怖から解放されて幸せ。

金は、核を手放した後、北朝鮮を統治しつづけることができず、中国、ロシアは、「緩衝国家」北朝鮮が存続しない。

我々の方でも同様に、交渉が終わった後も続くような体制保障を提供しなければならぬ。

したがって、私たちは（金正恩と）正確にこの問題に対する協議を行うた。

合意後もそれ（体制保障）が続くかどうかの約束を、私たちがしなければならぬ問題だ。

アメリカは、北に「CVID」と呼ばれる「完全かつ検証可能で不可逆的な非核化」を求めている。そのかわり、アメリカは北に対し、「完全かつ検証可能で不可逆的な体制保障」をしなければならぬ。

どうすれば、金正恩が納得する形で「体制保障」ができるのでしょうか？

《覆せないように》
それならば、カギは北朝鮮が安心できる、永久的な体制保障を、アメリカがどうやって提供できるかという問題に移る。

ポネベオ長官にはアイデアがある。

彼は、北朝鮮と交渉が妥結されれば、これを条約の形にして議会の同意を受けるといふ意思を明らかにした。

政権が変わっても勝手に覆さないようにするといふ話だ。

これはトランプ大統領が脱退を宣言したイラン核合意とは違ふ（同上）

アメリカと北は体制保障に異なる「条約」を締結する。

これは、最近トランプさんが脱退を表明した「イラン核合意」とは違ふ。

どう違うのでしょうか？

《オバマ政府の時に妥結されたイラン核合意は、行政府レベルの協定

でも覆すことができる。脱退する行政命令に縛られたこととも似たような理由からだ（同上）

「イラン核合意」も「パリ協定」も、「議会の承認を得ない、行政レベルの協定」だったのだから、トランプが勝手に覆すことができた。

《したがって、ポネベオ長官が北朝鮮との非核化合意結果を、条約の形で完成するという目標を明らかにしたのは、かなり意味あることだ。

合意の履行の持続可能性を担保するというアメリカの約束であるわけだから、金正恩も、アメリカの意思を信じているだろうと。

これ、どうでしょうか？

既述のように、「WIN-WIN」な正しい道です。

私は、金が納得するた

そして国連をまきこんで体制保証した方がいいと、考えていました。しかし、ポネベオ方式で金が納得するならば、それはそれでよいことでしょう。

日本としては、北が核兵器を放棄し、拉致被害者を返してくれるという結果が一番大事です。

—— ホント、この世界は「だましあい」と「不信感」がベースになっていますね。それで、なかなか「ウソ」と「真実」「事実」のみわけがつかない。

王は彼に財政的な支援を一切、行わなかった。スバイであれ、インテリジェンス・エージェントである。英国の伝統的なリット方法は、それなりに成功していた。

★川成洋「英国スパイ物語」の詳細 Amazon購入はこちら
https://amzn.to/2GZ9Z9y

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

メルマガ

CONFIDENTIAL
TOP SECRET
CONFIDENTIAL

国際インテリジェンス

機密ファイル

川成洋

英国スパイ物語

をよみ解く

【発行】国際インテリジェンス研究所

メルマガ

CONFIDENTIAL
TOP SECRET
CONFIDENTIAL

国際インテリジェンス

機密ファイル

川成洋

英国スパイ物語

をよみ解く

【発行】国際インテリジェンス研究所

【本の要旨】
歴史上、イギリスは、自国が関与した戦争や厳しい対外問題において、紆余曲折を経て終結したときには、抜け目なく自国の利益を確保していた点に興味深い。

1588年、スペイン国王フェリペ2世は、エリザベス女王のイングランドへの脅威を完遂するため、130隻からなる大艦隊の遠征に踏み切った。海戦は10日ほどで北した。

イングリッド側は、スウェーデン艦隊を無敵艦隊と呼び、「無敵艦隊撃退」を自国の自信と誇りのシンボルとするようになった。

実はこの困難に際して、イングランドの「秘密情報部の父」といわれたサー・フランシス・ウォルシンガムが、大陸に亡命中に自ら構築した個人的なスパイネットワークを活用して、ヨーロッパ列強の宮廷、ローマ教皇庁、さらにスペイン宮廷からも情報を集

「常磐もの」主魚種復活
【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

メルマガジン
「ロシア政治経済ジャーナル」
発行者 北野幸伯
Copyright (C) RPE Journal All Rights Reserved. 358
アドレス変更・解除は
http://www.mag2.com/m/000012950.html

まくまくメルマガ
『国際インテリジェンス機密ファイル』
http://www.mag2.com/m/0000258752.html
公式ブログ
『国際インテリジェンス機密ファイル』
http://ameblo.jp/jyoho2040/
【発行】国際インテリジェンス研究所

3日(日)のNHK

06:30	Eダンスアカデミー「あつという間にダンスがでける!シーズン6(9)」	14:50	クイ(7)
07:00	NHKニュース7	15:00	BSニュース
07:30	ダーウィンが来た!生きもの新伝説「巨大クワナ大襲撃の秘密」	15:30	NHKニュース
08:00	大河ドラマ「西郷どん」(2)「刀切の唄」	16:00	NHKニュース7
08:45	ニュース・気象情報	16:30	NHKニュース
09:00	激動の世界をゆく「特集 編 世界ふれあい活歩き「人気が高い」の高級「タナ」	17:00	大河ドラマ「西郷どん」(2)「刀切の唄」
09:50	世界ふれあい活歩き「人気が高い」の高級「タナ」	17:45	さわやか自然百景(アンコール)「自然美の輝く田」
10:50	ニュース・気象情報	17:59	ワールドウェザー
10:55	これでわかった!世界のいま	18:00	NHKニュース おはよう日本
11:32	NHKマップ	20:00	連続テレビ小説「半青い」(55)
11:35	サンデーミュージック2020	20:15	あさイチ
12:35	NHKのど自衛隊「福岡県福岡市川町」	21:55	みんなの体操
13:20	東京六大学野球「慶応対コナナデサナー」	22:00	ニュース・気象情報
		22:05	ドラマ10「デザイナーラ

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

【共同】福島県いわき市漁協と相馬双葉漁協（相馬市）は1日、東京電力福島第1原発事故の影響で中断していた福島県沖のスズキ漁を再開した。魚種と海域を絞った試験操業の環で、放射線物質の検査後に出荷する。国は2012年6

4日(月)のNHK

03:49	ワールドウェザー	08:45	まいにちスクスク	14:00	あの日 わたしは～証言	18:00	NHKニュース おはよう日本
03:50	ごごま「おしゃべり日和」	08:50	ワールドウェザー	14:05	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	20:00	連続テレビ小説「半青い」(56)
04:45	ピカゴライツミニ	08:58	ワールドウェザー	14:35	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	20:15	みんなの体操
04:50	BSニュース	09:00	ニュースウォッチ9	14:40	NHKニュース	20:55	みんなの体操
05:01	BSニュース	09:00	ニュースウォッチ9	14:45	きょうの健康 あなたも	21:55	みんなの体操
05:11	えいごであそぼ wit	09:00	ニュースウォッチ9	14:50	きょうの健康 あなたも	22:00	ニュース・気象情報
		09:00	ニュースウォッチ9	15:10	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:25	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:30	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:35	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:40	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:45	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:50	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	15:55	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:00	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:05	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:10	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:15	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:20	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:25	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:30	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:35	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:40	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:45	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:50	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	16:55	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:00	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:05	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:10	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:15	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:20	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:25	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:30	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:35	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:40	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:45	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:50	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	17:55	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操
		09:00	ニュースウォッチ9	18:00	きょうの健康 あなたも	22:05	みんなの体操

5日(火)のNHK

03:10	みんなのうた	08:43	NHKマップ	14:05	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	20:00	連続テレビ小説「半青い」(57)
03:15	デザインあ 5分版	08:45	まいにちスクスク	14:10	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	20:15	みんなの体操
03:20	TKOYデーパ「歴史の魔都 竜門」	08:45	ワールドウェザー	14:15	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	20:55	みんなの体操
03:49	ワールドウェザー	08:50	ワールドウェザー	14:30	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	21:55	みんなの体操
03:50	ごごま「おしゃべり日和」	08:50	ワールドウェザー	14:35	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:00	ニュース・気象情報
		08:50	ワールドウェザー	14:40	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	14:45	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	14:50	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	14:55	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:00	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:05	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:10	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:15	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:20	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:25	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:30	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:35	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:40	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:45	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:50	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	15:55	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:00	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:05	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:10	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:15	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:20	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:25	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:30	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:35	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:40	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:45	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:50	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	16:55	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:00	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:05	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:10	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:15	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:20	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:25	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:30	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:35	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:40	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:45	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:50	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	17:55	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操
		08:50	ワールドウェザー	18:00	証言 東日本大震災～ニュースチェック11	22:05	みんなの体操



EXPOSIÇÃO

MUJI POP UP STORE

Onde: Japan House São Paulo (Av. Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)

De 19/06 a 22/07/2018

Horário: Terça a sábado das 10h às 22h e Domingos e feriados das 10h às 18h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

TANGO NO SEKKU – SIMBOLOS E TRADIÇÕES DO DIA DOS MENINOS

Classificação: Livre

Onde: Biblioteca da Fundação Japão São Paulo (Av. Paulista 52, 3º andar, Bela Vista)

Até 30/06/2018

Horário: 3ª a 6ª das 10h30 às 19h30 e sábados, das 9h às 17h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 11/3141-0110

EXPOSIÇÃO ITINERANTE VARIAÇÃO E AUTONOMIA – AS GRAVURAS DE ARTISTAS JAPONESES CONTEMPORÂNEOS

Classificação: Livre

Ingresso: Entrada Gratuita em Todos os Estados

[São Paulo]

Onde: Centro Cultural São Paulo (R. Vergueiro 1000, Paraíso)

De 24/05 a 24/06/2018

Horário: 3ª a 6ª 10h às 20h e Sábados, domingos e feriados 10h às 18h

[Rio de Janeiro]

Onde: Centro Cultural do Correio (R. Visconde de Itaboraí 20, Centro)

De 04/07 a 28/07/2018

[Curitiba]

Onde: Museu Paranaense (R. Kellers 289, Alto São Francisco)

De 10/08 a 02/09/2018

[Manaus]

Onde: Palácio da Justiça (Av. Eduardo Ribeiro 901, Centro)

De 18/09 a 13/10/2018

[Recife]

Onde: Torre Malakoff (Praça Artur Oscar, S/N, Recife Antigo)

De 01/11 a 25/11/2018

ARTE ATUAL FESTIVAL – DEMONSTRAÇÃO POR ABSURDO

Onde: Instituto Tomie Ohtake (R. Coropés 88, Pinheiros)

De 18/05 a 03/06/2018

Horário: de 3ª a domingo das 11h às 20h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

“OSCAR OIWA NO PARAÍSO - DESENHANDO O EFÊMERO”

Onde: Japan House São Paulo (Av. Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)

De 03/04 a 03/06/2018

Horário: 3ª a sábado das 10h às 22h e Domingos e feriados das 10h às 18h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

Acompanhe a programação nas redes sociais: facebook.com/JapanHouseSP, instagram.com/japanhousesp e twitter.com/japanhousesp

IMAGENS DO ALEIJADINHO

Curador-Adjunto: Rodrigo Moura

Onde: MUSEU DE ARTE DE SÃO PAULO

– Assis Chateaubriand – MASP (Av. Paulista 1578, Bela Vista)

De 10/03 a 03/06/2018

Horário: 3ª a domingo das 10h às 18h (bilheteria aberta até 17h30) e 5ª das 10h às 20h (bilheteria até 19h30)

Ingresso: R\$17,00 e Entrada Gratuita às terças-feiras.

Informações: 11/3149-5959

ALUCINAÇÕES PARCIAIS EXPOSIÇÃO-ESCOLA COM OBRAS-PRIMAS MODERNAS DO BRASIL E DO CENTRO POMPIDOU

Onde: Instituto Tomie Ohtake (R. Coropés 88, Pinheiros)

De 06/04 a 10/06/2018

Horário: de 3ª a domingo das 11h às 20h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

CASARÃO DO CHÁ – MOGI DAS CRUZES/SP

Onde: Casarão do Chá (Estrada Do Chá ex 05, acesso pela Estrada do Nagao, km 3, Cocuera, Mogi das Cruzes/SP)

Visitação: Todos os domingos das 9h às 17h

Durante a semana visitas monitoradas: Escolas – visitação gratuita; Grupos Turísticos – R\$100,00 até 30 pessoas. Agendamentos 11/4792-2164

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 11/4792-2164 e www.casaraodocha.org.br

PAVILHÃO JAPONÊS – PARQUE DO IBIRAPUERA

Onde: Pavilhão Japonês (Parque do Ibirapuera – portão 10 - próx. ao Planetário e ao Museu Afro Brasil)

Visitação: quarta-feira, sábado, domingo e feriados

Horário: das 10h às 12h e das 13h às 17h

CINEMA

BUNKYO CINEMA

Data: Primeira quarta-feira útil do mês, às 13h

(06/06/2018)

Onde: Pequeno Auditório do Bunkyo (Rua São Joaquim 381, Liberdade)

Capacidade: 200 lugares

Ingressos: Gratuitos

(ingressos serão distribuídos 30 minutos antes de cada sessão, respeitando a ordem de chegada)

Informações: 11/3208-1755 e www.bunkyo.org.br

EVENTO

KARAOKE-DANCE DO NIKKEY CULTURAL

Onde: Iwate Kenjin do Brasil (Rua Tomas Gonzaga 95, Liberdade)

Dias 31/05 e 07, 14, 21 e 28/06 2018

(todas as quintas)

Horário: 8h às 16h

(Serve Almoço)

Informações: 11/99857-3845 (com Iritsu)

AOBA MATSURI

Feira de verduras frescas e comidas caseiras.

Onde: Miyagui Kenjin Kai (R. Fagundes 152, Liberdade)

Dia 02/06/2018

Horário: 9h às 18h

Informações: 11/3209-3265

KARAOKÊ-DANCE NIKKEY CULTURAL

Pioneiro nessa atividade cujo objetivo é de proporcionar um ambiente familiar onde os frequentadores cantam suas músicas preferidas e dançam ritmos como o chá chá chá, rumba, forró, samba e country. Todos os domingos Baile com Música ao Vivo.

Onde: Assoc. Cultural Tokushima Kenjin do Brasil (Av. Dr Antonio Maria Laert 275, 100m do Metro Tucuruvi)

Dias 02 e 03/06/2018

Horário: Sábados Karaokê Dance das 8h às 16h e Domingos das 8h às 18h e das 18h às 22h Bailes com música ao vivo.

Informações: 11/99857-3845 (com Iritsu)

“A MAGIA ORIENTAL”

Ilusionistas: Mario Kamia, Edson Iwassaki, Kevin Iwassaki e o mágico japonês Youri

Onde: Teatro Arthur Rubinstein no Clube Hebraica (R. Hungria 1000, Pinheiros)

Dias 02 e 03/06/2018

Horário: Sábado às 15h e 18h e Domingo às 15h e 18h

Ingresso: R\$80,00 (inteira) e R\$40,00 (meia) compradas pelo site Iww.amagiaoriental.com.br

Informações: 11/3818-8800

16ª FESTA JUNINA COM BOI-NO-ROLETE

Show com os Demônios da Garoa

Onde: Sede da Kibô-no-Iê (Trav. Hideharu Yamazaki, s/n da Estrada do Tronco, altura do km 206 da Via Dutra)

Dia 17/06/2018

Horário: 10h às 17h

Convite: R\$50,00 (Antecipado) e R\$60,00 (No Dia)

Informações: 11/5549-2695

14ª FESTIVAL DO JAPÃO DE CAMPINAS/SP

Shows: Karen Ito, Mariko Nakahira, Angelaisa Toyota e Joe Hirata

Onde: R. Camargo Paes 118, Jd Guanabara, Campinas/SP

Dias 09 e 10/06/2018

Horário: 10h às 20h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 19/3241-1213

19/3241-1719

9ª FESTA JUNINA – NO ARRAIAL DO IKOI-NO-SONO

Show com Ryu Jackson, Dalan & Bueno, Monkey e Apresentação dos Alunos

Onde: Rua Jardim de Repouso São Francisco 881, Guarulhos/SP

Dia 10/06/2018

Horário: 10h às 16h30

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 11/2480-1122

Transporte: R\$10,00

(ida e volta)

Rua da Gloria 326, Liberdade

- Ida: 2 saídas 9h e 9h30 e Volta: 16h20.

K-BAZAR

– SEGUNDA EDIÇÃO

Inscrição de Covers: de 23/04 a 05/06/2018

Onde: Av. Paulista 287, Bela Vista/SP

Dia 10/06/2018

Horário: 13h às 17h

Ingresso: Entrada Gratuita

5ª JUNINA MATSURI

Onde: Sede da ACENSA Santo Amaro (Rua Vigário Taques Bitencourt 211, Santo Amaro)

Dia 16/06/2018

Informações: acensa.seinen@gmail.com

37ª FESTA DA IMIGRAÇÃO JAPONESA DE SÃO BERNARDO DO CAMPO/SP

Onde: Cenforpe (Av. Dom Jaime de Barros Câmara 201, Planalto, S B do Campo/SP)

Dias 16 e 17/06/2018

Horário: 10h às 21h

Ingresso: Entrada Gratuita

Informações: 11/96830-8214

CURSO

LITERATURA INFANTOJUVENIL

– UM PERCURSO PELA LITERATURA INFANTIL COM ISABEL LOPES COELHO E MELL BRITES

Público-Alvo: estudantes, profissionais da área de humanas, professores e interessados em geral

Duração: 3 meses

(12 encontros)

Período: 12/03 a 04/06/2018

Horário: segundas-feiras, 19h30 – 22h

Vagas: 25

Valor: 3 parcelas R\$400,00

Onde: Instituto Tomie Ohtake (R. Coropés 88, Pinheiros)

Informações e Inscrições: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

CURSO HISTÓRIA DO JAPÃO – 2018

Dia 02/06/2018 – História do Japão 4 – Período Edo – isolamento do Japão.

Dia 04/08/2018 – História do Japão 5 – Período Edo final – abertura dos portos.

Dia 01/09/2018 – História do Japão 6 – Período Meiji - modernização.

Dia 06/10/2018 – História do Japão 7 – Períodos Taisho e Showa início.

Dia 10/11/2018 – História do Japão 8 – Segunda Guerra e Showa final.

Dia 01/12/2018 – História do Japão 9 – Era Heisei até hoje.

Onde: Associação Cultural Mie Kenjin do Brasil (Av. Lins de Vasconcelos 3352, Vila Mariana)

Horário: 9h às 12 horas.

Inscrições: R\$35,00 + R\$3,50 (taxa do Sympla) por aula.

Inscrições e pagamentos até 03 dias antes da data do curso, na secretaria da Associação Mie ou pelo site culturajaponesa.com.br.

Informações: 11/5549-6857

CURSOS DA NIKKEY CULTURAL

Onde: R. Tomas Gonzaga 95, 4 andar, - Liberdade

Cursos: Karaokê, Idiomas (japones, inglês e espanhol), teclado, informática para a 3ª idade e dança de salão.

Informações: 11/99857-3845 (com Iritsu)

CURSO DE SOOTAIHO Ginastica Relaxante

Onde: Espaço Rikko-kai (R. Primeiro de Janeiro 53, Prox. Metro Santa Cruz)

Dia da Semana: 4ª Feira

Horário: 9h30 às 11h30

Capacidade: 10 alunos

Profª Setuko Namekata Kobashi

Informações: 11/3842-3189 e 11/97623-2216

PALESTRA

PALESTRAS GRATUITAS DO CIATE MAIO/2018

22/05 – Terça-feira – 14h às 16h

“Qual seria o Investimento Ideal para Mim?” (Rodrigo A. Yoshitome – Consultor de Investimentos).

24/05 – Quinta-feira – 14h às 16h

“Cultivando a Autoestima” (Marcos Sugiura – Psicólogo).

Onde: CIATE - Centro de Informação e Apoio ao Trabalhador Retornado do Exterior (R. São Joaquim 381, 1º andar, Liberdade)



Divulgação de eventos com Cristiane Kishihara

E-mail: cris_kishihara@hotmail

TEL: 11/3340-6060

デカセギから日本文化伝道師に

大人気ユーチューバー夫妻

移民110周年の記念動画製作

動画共有サイトユーチューブで約205万8277人(6月1日現在)の登録者数を誇る、在伯人ユーチューバー、栗山プリシラさん(Prit, 34、三世)とローガン夫妻が、日本移民110周年の記念動画製作を企画し、視聴者数を下ドンドン増やしている。日本文化や風習を説明するボキャブラリーを作ったローガン夫妻は「日本文化伝道師」だ。在伯人ユーチューバーの中でも圧倒的な人気を誇る同夫妻にメールで取材した。



ローガン夫妻の110周年記念動画 (「Japao Nosso De Cada Dia」より)

登録者数「約205万8277人」がどれくらい多いかといえば、日本文学賞の6位(日本FP本のユーチューバー)である。同夫妻はブラジルの同チャンネルに登録している。5年に訪日した当時、普通のデカセギだった。ブラジルの結核は少なく、大学にもいけなかった。仕事は残業が多かったし家族との距離も遠いけど、

「祖先へ感謝、未来に記録」47県人会で世界記録目指す

ブラジル日本都道府県人会連合会(山田康夫会長)が主催する「第21回日本祭り」の目玉企画として、ギネス記録の企画を進めるギネスチームが先月21日に記者会見を行い、参加する県人会や団体に感謝を述べた。



ギネスチームの皆さん

審査員となるギネス社員1人、4人の日本料理家のために、品被りのチエツクを終えた料理を登録した「ログブック」も作成中。審査後すぐに結果が発表され、午後7時に記念撮影、参加団体全てに賞状が授与される。

記念式典は正午に時間変更

ギネス挑戦で初の全県参加!

ブラジル日本都道府県人会連合会(山田康夫会長)の「5月度代表者会議」が先月24日、文協ビル内の県連会議室で行われた。2カ月後に迫る「第21回日本祭り」の内で行われるギネス記録、110周年記念式典の時間変更などについて報告が行われた。7月21日午前11時から正午までとされてきたブラジル日本移民110周年記念式典は、正午から午後1時まで、芸能ショーは午前10時から正午までに変更となった。

前日夜にパラナ州マリンガ市で行われる記念式典に真子さまがご臨席されるため、その移動時間を考慮した。また、式典には16県の知事や議長などが参加することが発表された。山田会長は「日本から来る伯される方には、式典がよく見えるVIP席を用意したいので、県人会長は日本側の参加者を早めに県連に連絡するように」と呼びかけた。

ギネス記録には、47都道府県と6団体が参加する。また日本祭り実行委員長の市川雄雄さんは「市内の日本食料店10店程度にも出品してもらい、聖市の日本食が認められたということにしたい」と提案した。

「日系現代美術作家展 在聖総領事館で4日から」

文協美術委員会(金間部さん、吉沢さん)が主催する「日系現代美術作家展」が6月4日から、在聖総領事館の多目的ホール(Av. Paulista, 854, 3º andar)で開催される。展覧期間は6月4日(土)午後5時から6月13日(日)午後5時までの10日間。入場料は無料だが、入館の際には身分証明書が必要となる。また、13日のみ午後3時以降は、浦行雄会長が「定例会」を6月3日午後1時から、鳥取交流センター(Rua Dona Cesaria Fagundes, 323, Saude)で行う。

たけお店 化粧品専門

二九四・九三三

受取りの 手続きをいたします

Fazemos Aposentadoria

Fones: 3208-7803 / 3341-7308

VENDE-SE

Aparelho de eletroacupuntura marca NKL modelo EL 502 7 canais

Contato: Monica (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp"

COMPRA DE CONSÓRCIOS

PAGAMENTO À VISTA ÓTIMA AVALIAÇÃO DESDE 2002

MANTOVANI CONSÓRCIOS

コンサルシオを使った購入 一括払い 高い評価を得ています。

2002年創業

www.mantovaniconsorcios.com.br

11 3141-1398 11 94012-4325 11 96428-6892

financieiro@mantovaniconsorcios.com.br

Av. Paulista, 91 sala 409

Bela Vista São Pulo SP 01310-000

サンパウロ日伯看護協会 日伯友好病院

最新設備と専門スタッフを備えた 日伯友好病院は真心込めた医療を あなたへお届けします

24時間受付 内科・外科・小児科 整形外科・心臓外科 他

日本語で対応します 各種健康保険取り扱っています (日本の保健各種)

日伯友好病院行きバスのご案内 地下鉄Tatuapé駅発172X-10 地下鉄Santana駅発271M-10 Dom Pedro II公園発272N-10

100. (11) 2633-2200

Rua Pistoia, Tel. / Pq. Novo Mundo - São Paulo

www.hospitalnipo.org.br

サンパウロ日伯看護協会 リベルダーデ医療センター

日本語で対応します

受付時間 月～金 07:00～19:00 土 07:00～13:00 人間ドック受付 月～金 07:00～16:00

人間ドック、診察と検査 (内科及び各種専門科)、歯科 各種健康保険取り扱っています (日本の保健各種) 日本語の診断書を発行します

Adesão de novos associados 新会員募集 (11) 3274-6523

お問合わせ: (11) 3274-6555 (11) 3274-6508 人間ドック: (11) 3274-6495 歯科: (11) 3274-6501

Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP

www.enkyo.org.br

Coreia do Norte (01/06/2018)

Secretário de Estado dos EUA assinala "progresso real" nas negociações com o lado norte-coreano

O secretário de Estado do governo americano, Mike Pompeo, declarou que suas negociações com o assessor do líder norte-coreano conseguiram um "progresso real" na fixação de condições necessárias para a realização da cúpula bilateral. Na semana passada, o presidente americano Donald Trump, anunciou sua decisão de cancelar a reunião de cúpula com o líder nor-

te-coreano Kim Jong Un. O encontro fora programado inicialmente para o dia 12 de junho em Cingapura. Mike Pompeo realizou uma coletiva para a imprensa, em Nova York, na quinta-feira, depois de terminar dois dias de negociações com o vice-presidente do partido governista norte-coreano, o Partido dos Trabalhadores, Kim Yong Chol, no início do dia.

Kim Yong Chol é o primeiro membro da liderança norte-coreana a visitar os Estados Unidos em 18 anos. Pompeo disse estar "confiante" de que os dois países estão se movendo rumo a uma "direção correta". Pompeo mencionou que os dois lados discutiram o que os Estados Unidos esperam no tocante à desnuclearização da Coreia do Norte e às compensações que Pyon-

gyang poderá receber em troca dessa atitude. Ele manifestou esperança de que a Coreia do Norte venha a concordar com os compromissos expostos pelos Estados Unidos. Disse ainda que Kim Yong Chol tenciona visitar Washington na sexta-feira para entregar uma carta do líder de seu país dirigida ao presidente Trump.

Coreia do Norte (01/06/2018)

Líder norte-coreano quer efetuar desnuclearização em etapas

O líder da Coreia do Norte, Kim Jong Un, teria dito que espera que sejam usadas medidas em etapas para resolver as questões sobre a relação com os Estados Unidos e a desnuclearização da Península Coreana. O jornal do governista Partido dos Trabalhadores, Rodong Sinmun, divulgou na

sexta-feira que Kim fez este comentário durante uma reunião no dia anterior com o chanceler russo, Sergei Lavrov, que está visitando a Coreia do Norte. O jornal mencionou o encontro na primeira página, com fotos, mostrando as duas autoridades apertando as mãos e conversando.

Segundo o artigo, Kim disse a Lavrov que o comprometimento do país em relação à desnuclearização da Península Coreana continua o mesmo. Lavrov teria respondido que a Rússia apoia integralmente a posição norte-coreana sobre a possível reunião de cúpula com os Estados

Unidos e sua determinação quanto à desnuclearização da Península Coreana. Eles concordaram em organizar uma cúpula entre o líder norte-coreano e o presidente russo, Vladimir Putin, neste ano que marca o 70º aniversário dos laços diplomáticos entre os dois países.

Coreia do Norte (30/05/2018)

Japão e EUA concordam em manter pressão sobre Coreia do Norte

Os ministros da Defesa do Japão e dos Estados Unidos concordaram em manter pressão sobre a Coreia do Norte visando fazer com que esta abandone completamente suas armas de destruição em massa e mísseis balísticos.

Na terça-feira, o ministro da Defesa do Japão, Itsunori Onodera, se reuniu com o secretário de Defesa dos Estados Unidos, Jim Mattis,

no Havaí, em antecipação à possível realização da cúpula entre Washington e Pyongyang. O encontro ocorreu na base do Comando do Pacífico dos Estados Unidos e teve cerca de uma hora de duração. Onodera disse a Mattis que a cúpula entre Washington e Pyongyang deveria servir de oportunidade para promover avanços na resolução de questões envolvendo o de-

envolvimento nuclear e de mísseis da Coreia do Norte, como também os sequestros de cidadãos japoneses por espões norte-coreanos. Ambos concordaram quanto a necessidade de fazer com que a Coreia do Norte abandone suas armas de destruição em massa e todos os tipos de mísseis balísticos, não somente os intercontinentais mas também os de menor alcance. Mísseis

balísticos intercontinentais norte-coreanos seriam capazes de atingir a porção continental dos Estados Unidos, ao passo que os de menor alcance podem chegar até o Japão. Itsunori Onodera e Jim Mattis também concordaram que é vital fazer com que Pyongyang mude suas políticas através da manutenção da pressão, como, por exemplo, a cooperação na vigilância rígida contra o contrabando de produtos em alto-mar por embarcações norte-coreanas.

Irã (31/05/2018)

Estados Unidos impõem novas sanções ao Irã

O governo do presidente americano, Donald Trump, impôs sanções a três entidades com sede no Irã e a seis indivíduos, com o argumento de que estão envolvidos em violações de direitos humanos cometidas pelo go-

verno iraniano. O Departamento do Tesouro dos Estados Unidos anunciou quarta-feira as novas sanções. Entre os alvos está o presidio Evin, que, segundo o governo americano, submete prisioneiros a

táticas brutais, incluindo o emprego de choques elétricos. Também é citada uma autoridade do governo do Irã responsável por censura. Em nota, o secretário do Tesouro dos Estados Unidos, Steven Mnuchin, critica o

Irã. Afirma que o país do Oriente Médio não apenas exporta terrorismo e instabilidade para várias partes do mundo, como ainda viola rotineiramente direitos da população iraniana.

Diplomacia (01/06/2018)

Japão e Vietnã compartilham preocupações no tocante ao Mar da China Meridional

O premiê japonês, Shinzo Abe, e o presidente do Vietnã, Tran Dai Quang, compartilharam suas preocupações com as atividades da China na região do Mar da China Meridional.

Em reunião realizada em Tóquio, na quinta-feira, os 2 líderes concordaram com

a importância de desnuclearização do mar através de esforços diplomáticos, de forma a tornar esta região uma área pacífica e estável. Abe ressaltou a importância de tornar a região Indo-Pacífico uma propriedade internacional onde prevaleça a paz e prosperidade.

Ele manifestou a esperança de que o Japão e o Vietnã aprofundem seus laços na área de segurança marítima. Abe e Quang concordaram que as resoluções de sanções do Conselho de Segurança da ONU sobre a Coreia do Norte devam ser implementadas totalmente. Eles tam-

bém concordaram que seus países vão cooperar na resolução da questão de sequestros de cidadãos japoneses pela Coreia do Norte. Abe prometeu que o Japão vai prover cerca de 140 milhões de dólares, em empréstimos na moeda japonesa, o iene, para treinamento de trabalhadores no Vietnã.



Estas notícias são produzidas pela
NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese

Trabalhadores estrangeiros (30/05/2018)

Japão vai aumentar permanência de estagiários estrangeiros

O governo japonês decidiu criar uma nova categoria de visto que vai permitir a estrangeiros com certas habilidades trabalharem no Japão por até cinco anos. Estagiários técnicos poderão estender sua permanência por até mais cinco anos. Autoridades do governo japonês estão preparando um novo programa de ação para a reforma econômica e fiscal que deve ser aprovada pelo Gabinete no próximo mês.

Segundo os responsáveis pelo plano, os interessados no novo visto vão precisar passar em um exame para comprovar conhecimentos, habilidades e proficiência na língua japonesa. Ainda assim, aqueles que concluíram o programa de treinamento técnico apoia-

do pelo governo não precisarão fazer o teste. Pelas regras atuais, estagiários estrangeiros podem ficar no máximo cinco anos no Japão. O novo visto vai permitir que eles permaneçam no país por um total de até dez anos. Contudo, eles precisarão voltar ao seu país de origem após o término do programa de treinamento técnico. De acordo com o governo, a nova norma não permitirá, a princípio, que portadores do novo visto possam trazer familiares para o Japão. Entretanto, exceções serão consideradas caso os interessados comprovem possuir habilidades profissionais avançadas.

Chegou o mais novo volume
Cultura Japonesa 7
Entendendo o Japão
UMA ANÁLISE DOS ACONTECIMENTOS ATUAIS, DA HISTÓRIA E DA CULTURA

O QUE FOI A ERA MEIJI
NO SÉCULO XIX, O MUNDO SE VIA NO MEIO DE UMA FORTE COMPETIÇÃO PARA O CONTROLE DO COMÉRCIO E COLONIZAÇÃO. ATRASADOS, OS ESTADOS UNIDOS VISARAM A HEGEMONIA DO COMÉRCIO NO PACÍFICO. NO CAMINHO, PORÉM, ESTAVA O JAPÃO, RESISTENTE À NEGOCIAÇÃO QUE O LEVARIA À ABERTURA PARA O MUNDO E, CONSEQUENTEMENTE, AO FIM DO XOGUNATO E AO SEU ISOLAMENTO.

A RESTAURAÇÃO MEIJI
O JAPÃO NO MUNDO EM PERSPECTIVA HISTÓRICA

Todos os textos em japonês e português
*OS TEXTOS EM JAPONÊS VÊM COM FURIGANA PARA FACILITAR A LEITURA. IDEAL PARA O ESTUDANTE DE LÍNGUA JAPONÊSA

Sakamoto Ryoma
Yoshida Shoin
Fukuzawa Yukichi
PROTAGONISTAS DA RESTAURAÇÃO MEIJI. SUAS VIDAS DETALHADAS AQUI!
Leia, conheça, coleccione, presenteie!
Lançamento: Jornal Nikkei Shimbun e Biblioteca Jovem de São Paulo

INFORMAÇÕES E VENDAS: Jornal Nikkei Shimbun (11-3340-6060),
Livrarias Fonomag (11-3104-3399), Sol (11-3208-6588),
Takano (11-3209-3313), Umantyu Shop - Santo André (11-4472-4532)
Para adquirir o livro através dos Correios, entrar em contato com as Livrarias.

Aplicativos gratuitos da NHK WORLD
TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD TV

*Para iOS, Android e Amazon Fire